

2025 年 11 月 6 日
株式会社トレードワルツ

貿易情報連携プラットフォーム「TradeWaltz®」、プロセス詳細画面の UI 改善を実施
～ モード切替機能の導入により、ユーザーの業務効率と視認性を大幅に向上 ～

株式会社トレードワルツ（本社：東京都港区、代表取締役社長：佐藤 高廣、以下「トレードワルツ」）は、貿易情報連携プラットフォーム「TradeWaltz®」において、取引や手続きの進捗を確認するプロセス詳細画面の UI を改善いたしました。今回の改善では、従来のプロセス詳細画面において課題となっていた「項目数の多さ」「視認性の低さ」「業務に不要な情報の混在」などを解消するため、3 つのモード（シンプル／標準／詳細）への切替機能を新たに導入。ユーザーの業務目的に応じて、必要な情報だけを表示できるようになります。

企業ごとの使い方に寄り添う、柔軟な UI 設計

各企業での TradeWaltz 利用目的が多様化する中、すべてのユーザーに最適な操作体験を提供するための UI 改善が課題となっていました。今回のモード切替機能は、こうした多様なニーズに応えるために開発されたものです。

- ・経理書類の電子化を進め、貿易関連書類の電子保存対応を目的とする企業
- ・通関や物流に関する情報共有を重視する企業
- ・社内システムとのデータ連携を進め、業務全体の効率化を図る企業

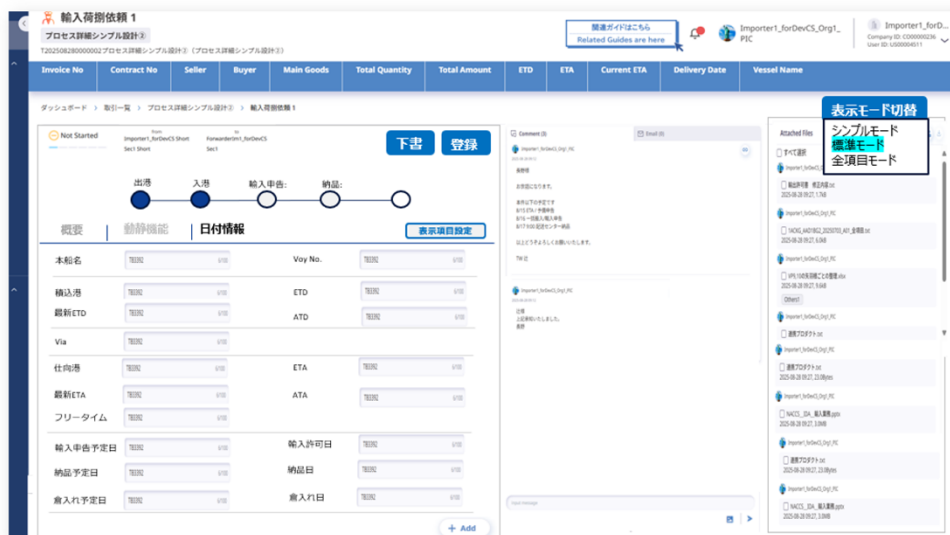
必要な情報だけを、見やすくシンプルに表示

新たに導入されたモード切替機能により、ユーザーは自社の業務内容や目的に応じて、3 つの表示モードを選択できるようになりました。これにより、利用シーンに合わせた柔軟な操作が可能となり、ユーザーはより直感的かつ効率的に貿易情報を扱うことができます。

- ・シンプルモード：コメントや添付ファイルを中心に扱うユーザー向け
- ・標準モード：物流・商流情報を含む情報共有を行うユーザー向け
- ・詳細モード：すべての項目を確認できる、システム連携データなど大量情報を扱うユーザー向け



シンプルモード



標準モード

今後のリリース予定

シンプルモードは 2025 年 11 月に一部リリースし、標準モードは 2026 年初頭に公開を予定しております。

ユーザーの声を反映し、さらなる利便性向上へ

今後もトレードワルツは、ユーザーの利用状況やフィードバックをもとに、さらなる UI 改善・機能拡張を進めてまいります。“すべての貿易プレイヤーがストレスなく貿易事務を行える環境”の実現を目指し、引き続き利便性の向上に取り組んでまいります。

■トレードワルツについて (<https://www.tradewaltz.com>)

株式会社トレードワルツは、貿易業務に関わる情報を電子データで一元的に管理できる貿易情報連携プラットフォーム「TradeWaltz」を SaaS として運営・提供しています。NTT データと主要な貿易実務者 18 社からなる貿易コンソーシアムで約 4 年間のシステム開発・技術実証、法改正提案、事業構想を経て、サービス化。

現在は、株式会社 NTT データ、豊田通商株式会社、東京大学協創プラットフォーム開発株式会社、住友商事株式会社、三菱商事株式会社、株式会社 TW Link、東京海上日動火災保険株式会社、株式会社三井住友銀行、豊島株式会社、株式会社上組、株式会社フジトランス コーポレーション、三井倉庫ホールディングス株式会社、株式会社日新、株式会社三菱 UFJ 銀行、丸紅株式会社、三菱倉庫株式会社、株式会社みずほ銀行、損害保険ジャパン株式会社の 18 社の共同出資により、事業を運営しています。

本件に関するお問い合わせ先（株式会社トレードワルツ）
広報・マーケティングチーム 担当：菊地、榎田 Email：info@tradewaltz.com